

ロハス南科・悠々人生

実験高等学校創立

「国立南科国際実験高等学校」が2006年8月1日に開校した。2007年度小学部39組、中学部24組、バイリンガルコース10組の、計73組で、学生は2,078人。2008年度に高校部が付設され、第一期生として3組90名の学生が入学する予定だ。

前向きで確実に進める教学体制

以前から小学部は英語教学で著名。2007年度からネットを通じた情報取得や交流を英語により進め、実際の運用を向上させた。

中学部は2007年度から「資質優秀教育方案」を進め、第七学年30名の学生を選抜して、「科学専門テーマでレポート作成・発表」、「科学実験・計量統計分析」、「英会話」および「英作文」の課程をもうけた。内容には各種研究(プラズマ、自製リモコン車など)を含み、中英文で研究内容および成果を展示した。



選抜教育対象の生徒が室外で現場科学測量を進めている(9月29日)

将来高校部では「CTI-精鋭90」計画を進める。「専案式学習」課程を通じて、高校生達にバイリンガルで研究を指導する。また「CTI(Creativity、Technology、International)資質優秀学生の学習計画」のサイトを設け、研究成果を公開すると共に積極的に海外の学生と交流を促進し、国際化の基礎とする。

校舎を広げて、整備を完璧に

現在の敷地は地5.7ヘクタールだが、2008年に東側に4.5ヘクタールを加えて、合計10.2ヘクタールに達する。2009年10月には300メートルの運動場、宿舍1棟、体育館及びプール1棟、バスケット用コート3つ、バレー用コート1つ、教学ビル2棟、2010年8月には図書情報、事務ビルと次々に完成する予定で、パーフェクトな教学環境が整って、高校部に完璧な教学環境の提供ができる。

教師と学生が努力の成果を上げ、数々の栄光を

小学部「燈峰造能」太陽エネルギーアイデア作品で科学展で特優

小学部児童による太陽エネルギー運用実験において、室内照明、太陽エネルギーパネル、風扇を組み合わせた「燈峰造能」太陽エネルギーアイデア作品によって、台南県2007年度中小学部科学展「生活応用科学部門」で特優、最優秀研究、最優秀団体等3項目受賞。



「燈峰造能」太陽エネルギー研究作品が特優を受賞し、受賞で喜ぶ師生たち(6月1日)



南科実験高等学校戴旭璋校長及び一年一組の師生とTeddy Bear「Drake」のタッチ(1月)

「Teddy Bear」国際交流活動で特優

2006年度末から小学部一年一組において米国とTeddy Bear交流計画を進めている。East Brook School in Park RidgeのTeddy Bear「Drake」を招くと共に、一年一組の小熊「貝貝」をEast Brook Schoolに贈った。

交流活動の過程において、学校教師と児童代表4名および保護者が、2007年5月に高雄市での国際組織—台湾国際教育資源網学会(I-EARN TAIWAN)主催の「専案式学習成果発表コンテスト」に参加し、内外の審査員から高く評価され、最高「特優」の栄誉に輝いた。

小学部読書成績で受賞

小学部の語学教師は「読解から作文へ」、「読書十部曲」などの教学方式を進めて成果をあげ、「台南県2007年度中小学読書推進成績優秀学校」に選定された。



一年一組が作った旧正月爆竹が米国教師の生教材に、



中学部師生が中小学部科学展で優等受賞(6月1日)



作品「撃破」で「2007年ガンダム模型ワールドカップチャレンジ大会」台湾地区青少年部門で優勝(12月9日)

中学部「植物気孔の開き方」研究で科学展優等受賞

中学部生徒がパープルハート、グラオネマという校庭によくみられる植物で、気孔が開くのもっとも適したイオンの条件を研究。「神様が開く窓—植物の気孔」で台南県2007年度中小学科学展に参加し、中学生物部門優等を受賞。

中学部「撃破」作品で優勝

中学部第九年生の生徒、連英辰は2007年12月に「2007鋼彈模型ワールドカップ選考大会」において「撃破」で台湾区青少年部門で優勝。台湾を代表して香港の決戦に参加し、その作品は香港、日本で展示された。

創意溢れる活動で、楽しく学習を

知性的で面白い教学

2007年1月下旬に中学部卵投げコンテストがあり、生徒たちは自らチームを組んで、申し込みが殺到した。内容はスリングかつ、遊び心いっぱい、生徒たちは科学の面白さを満喫した。

バイリンガルコースの師生が主催した「動態教学成果展」が2007年6月5日に登場。師生の創意あふれる演出に拍手喝采、高い評価を受けた。

英知サマーキャンプ

夏休み期間中、生徒たちは科学教育をテーマに多種多彩なキャンプを開催した。中学部では「知性科学探索キャンプ」を開催し、茂迪、聯電、財団法人国家高速ネットワーク及び情報処理センターなどを実地に参観し、生徒たちに太陽エネルギーパネルの生産過程を体験させ、また12インチウエハーおよび台湾知識格網計画に触れさせた。小学部では「夢～南科から飛び立とう」と名付けて、児童に水火箭(矢)・風箏(凧)・天燈(灯籠)などを制作させた。飛行への知識と夢を育んだ。

また、ボーイスカウトサマーキャンプを催し、生活教育の一環として、科学ゲーム、英語、アーチェリー、水泳などの課程を学んだ。「生態野外訓練」では、ロッククライミング、木登り、垂直落下などを試し、胆力と大自然への愛情を育んだ。

国際交流体験

2007年7月、中学部14名の生徒が2人の教師が率いられて、米国ミズーリ州St. Louis、Columbia、Hannibalおよびワシントン、ロサンゼルスなどを訪問し二週間にわたって諸活動を展開した。全行程で、Hannibal 高生徒と行動を共にし、当該高校やその保護者の家庭と交流し、アメリカ式文化を体験した。

8月には小学部24名の生徒が2名の教師に率いられて、オーストラリア、クイーンズランドVarsity Collegeに三週間にわたって短期留学。クイーンズランド州教育省主催の南科国際交換学生プログラムに参加し、ホームステイを体験した。課程には専門的なschool buddyが付き添い、当該学校生徒と一緒に授業を受けるなど、当地の教育、生活、文化に飛び込んで学び、思い出の深い印象を残した。

8月には米国VDOH校 (Villa Duchesne/Oak Hill School) の8名の師生が南科国際実験高等学校を訪問し、台南県・墾丁を周遊した。本校がホームステイをアレンジし、茶道を通じて中華文化の神髄と人文の精神に触れさせた。



セーフ! スリルいっぱいの「擲蛋」卵投げコンテスト(1月30日)



動態教学成果展(6月5日)



知性科学探索キャンプで茂迪株式会社を訪問(7月3日)



- 1 | 2
- 1.南科実験高等学校の生徒がオーストラリアVarsity Collegeの教室で当校小学部の生徒と授業を受ける(8月)
 - 2.米国Hannibal高校を訪問。南科実験高等学校生徒も一緒に独立記念日のパレードに参加(7月4日)